

2 年次前期・必修**1 単位・15 時間**

【概要・目標】

社会保障には、年金や医療のように社会に生きる者の大半を対象とする制度と、いわゆる「社会的弱者」とされる児童や高齢者等、対象を一定の範囲に絞った制度との2種類があります。同じ社会保障の枠内ですが両者の制度を支える原理はまったく異なるといえます。そして後者の制度は、「社会福祉制度」と呼ばれています。

この講義では、社会保障における社会福祉制度を対象として、その理念を考察しつつ、具体的な現状と課題点について検討していきます。最終的には、医療職を目指す者として、現在の社会福祉制度に対しての具体的な批判と、それに対する対策を指摘できる知識の習得をはかることを目的とします。

【授業内容・スケジュール】

- 1) ガイダンスと総論
- 2) 貧困に対する対策
①生活保護法 ②論点と課題
- 3) ~ 4) 高齢者に対する福祉
①高齢者のための福祉法制 ②介護保険法
- 5) 児童・家族福祉
①児童のための福祉法制 ②児童虐待防止法
- 6) 障害者福祉
①障害者のための福祉法制 ②障害者総合支援法 ③障害者差別解消法
- 7) まとめ

(上記内容は講義の進捗状況等により変更する可能性があります。)

【評価】

試験 (80%)、レポート (0%)、小テスト (0%)、発表 (0%)、提出物 (10%)、出席状況 (5%)、参加態度 (5%)、その他 (0%)

【教科書】

福田素生ほか『系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度[3]社会保障・社会福祉 (第22版)』医学書院

増田幸弘ほか [2019]『変わる福祉社会の論点 [第2版]』信山社

【推薦参考図書】

授業中に適宜指示する。

【その他】

医療職に携わるみなさんにとって、社会福祉は是非学んでおいていただきたい領域です。積極的な姿勢で講義に参加されることを望みます。講義内容でわからないことがあれば、直接またはメールにて連絡してください (メールアドレス kanamegu@wakayama-u.ac.jp)。